

## 第四次宮崎市地域福祉計画及び第六次宮崎市地域福祉活動計画の進捗状況について

### <全般>

- ①成果指標のうち、「順調」とされた指標が 34、「やや遅れている」が 32、「遅れている」が 49 で、前年度と概ね同水準であり、令和元年度と比較すると、「遅れている」「やや遅れている」が約 3 割増加している。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響が、令和元年度分(2019)は一部期間、令和2年度分(2020)、令和3年度分(2021)は全期間に渡って生じており、成果の進捗に多大な影響があった。
- ③今後とも、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、必要な事業の実施方法を検討し、取り組んでいく必要がある。

### ●成果指標の状況(全体)

地域が主役となるまちづくりの目標である基本目標 1 においては順調が 18.2%、宮崎市と宮崎市社会福祉協議会が担うべき部分である基本目標 2 においては順調が 37.1%、新たに取り組むべき目標である基本目標 3 では順調が 13.3%であった。

新型コロナウイルス感染症の影響等により、前年度に引き続き全体的に低調となったが、感染対策を講じながら、必要な事業の実施方法を検討し、取り組んでいく必要がある。

	基本目標1 ともに支え合う人・地域づくり		基本目標2 安心して暮らせるまちづくり		基本目標3 福祉の困りごとを解決する しくみづくり	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
順調	6	18.2%	26	37.1%	2	13.3%
やや遅れている	12	36.4%	16	22.9%	4	26.7%
遅れている	15	45.4%	27	38.6%	7	46.7%
—	0	—	1	1.4%	2	13.3%
合計	33	100%	70	100%	15	100%

### (全体と過去3か年の推移)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
順調	67	56.8%	32	27.1%	34	28.8%
やや遅れている	36	30.5%	43	36.4%	32	27.1%
遅れている	13	11.0%	41	34.7%	49	41.5%
—	2	1.7%	2	1.7%	3	2.5%
合計	118	100%	118	100%	118	100%

- 令和2年度実績において、「遅れている」「やや遅れている」が約3割増加(令和元年度比)し、令和3年度もほぼ同水準で推移している。
- 「遅れている」「やや遅れている」の81指標のうち、新型コロナウイルス感染症の影響とされるものが72項目(9割弱)。

●成果指標の状況(基本目標1:ともに支え合う人・地域づくり)

	施策の展開1 福祉教育、意識啓発		施策の展開2 人材育成、担い手 づくり		施策の展開3 地域活動の参加推進		施策の展開4 交流の場や居場所 づくり		施策の展開5 地域福祉を推進す る活動への支援	
	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率
順調	1	14.3%	1	12.5%	1	25%	1	14.3%	2	28.6%
やや遅れている	1	14.3%	3	37.5%	2	50%	4	57.1%	2	28.6%
遅れている	5	71.4%	4	50.0%	1	25%	2	28.6%	3	42.8%
合計	7	100%	8	100%	4	100%	7	100%	7	100%

○成果指標として「遅れている」となったのは、「福祉教育、意識啓発」で5項目、「人材育成、担い手づくり」で4項目、「地域活動の参加推進」で1項目、「交流の場や居場所づくり」で2項目、「地域福祉を推進する活動への支援」で3項目の合計15項目であった。

○遅れが見られる項目のうち新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれるものを除くと、「民生委員・児童委員の充足率」「地域まちづくり推進委員会の委員数」の2項目。

○「民生委員・児童委員の充足率」については、本年度(令和4年度)に一斉改選が行われたこと等も踏まえ、別途、状況報告等を行う。(資料6)

○また、「ボランティアセンターの新規登録者数」など、令和2年度と比して新型コロナウイルス感染症による影響からは回復傾向にあるものの、令和3年度実績において目標値を下回っていることを受け、進捗状況が「(やや)遅れている」と評価されている指標等も見受けられている。

○なお、「自治会加入率」については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う諸活動の制限等の影響も考えられるものの、従前からの高齢化等による担い手不足やマンションなどの集合住宅の増加といった社会情勢の構造的な変化に伴い、現況値(2018)の55.2%から52.4%に推移しているなど、加入率の減少が続いている。自治会は本市のまちづくりにおいて非常な重要を担っており、地域福祉の分野においても中核的な組織の1つであることから、本市としても引き続き危機感を抱いているところである。

●成果指標の状況(基本目標2:安心して暮らせるまちづくり)

	施策の展開1 子どもや子育て世代に やさしい環境づくり		施策の展開2 障がい者にやさしい環 境づくり		施策の展開3 高齢者にやさしい環境 づくり		施策の展開4 健康に暮らせるまちづ くり	
	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率
順調	8	61.5%	8	66.7%	2	15.4%	2	20.0%
やや遅れている	3	23.1%	2	16.7%	4	30.8%	3	30.0%
遅れている	2	15.4%	2	16.7%	7	53.8%	5	50.0%
合計	13	100%	12	100%	13	100%	10	100%

	施策の展開5 災害時に助け合えるま ちづくり		施策の展開6 生活困窮者を支える環 境づくり		施策の展開7 権利と暮らしが守られ るまちづくり	
	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率
順調	3	50.0%	1	25.0%	2	18.2%
やや遅れている	1	16.7%	0	-	3	27.3%
遅れている	2	33.3%	3	75.0%	6	54.5%
合計	6	100%	4	100%	11	100%

- 成果指標として「遅れている」となったのは、「子どもや子育て世代にやさしい環境づくり」で2項目、「障がい者にやさしい環境づくり」で2項目、「高齢者にやさしい環境づくり」で7項目、「健康に暮らせるまちづくり」で5項目、「災害時に助け合えるまちづくり」で2項目、「生活困窮者を支える環境づくり」で3項目、「権利と暮らしが守られるまちづくり」で6項目の合計で27項目であった。
- このうち新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれるものを除くと、「市の支援により就労を開始した介護人材数」「福祉協力員数」「市政出前講座等関係者への説明件数(自立支援制度・自立相談支援センター)」の3項目。
- 「福祉協力員数」については、地域コミュニティの希薄化によるなり手不足が何われ、引き続き自治会や民児協等と連携し、必要性についての理解を求めていく。
- 一方で、「障がい児(者)相談支援延べ利用者数」「母子保健相談支援件数」など、毎年度利用実績が増加している項目や、「特定健康診査受診率」など、令和2年度に実績が低下したものを令和3年度には回復した項目など、新型コロナウイルス感染症の影響下でも必要な事業実施が図られている項目も見受けられる。

●成果指標の状況(基本目標3:福祉の困り事を解決するしくみづくり)

	施策の展開1 包括的な相談・支援体制 の整備		施策の展開2 生活支援の体制づくり		施策の展開3 地域の課題を解決する ための財源確保	
	数	割合	数	割合	数	割合
順調	0	-	2	28.6%	0	-
やや遅れている	1	25.0%	0	-	3	75.0%
遅れている	1	25.0%	5	71.4%	1	25.0%
-	2	50.0%	0	-	0	-
合計	4	100%	7	100%	4	100%

- 成果指標として「遅れている」となったのは、「包括的な相談・支援体制の整備」で1項目、「生活支援の体制づくり」で5項目、「地域の課題を解決するための財源確保」で1項目。
- 「市職員の自治会加入率」については、単身世帯で集合住宅に居住している職員の加入率が低い状況が続いており、目標値に届いていない状況である。
- また、「ふれあいハートサービスの利用件数」については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で減少した実績がやや回復してきているものの、担い手確保の課題等もあり、目標値には届いていない。
- なお、施策の展開1「包括的な相談・支援体制の整備」においては、「分野や世代を超えた多世代型相談・支援体制の構築」と「関係機関の連携による地域課題解決の仕組みづくり」の2項目については現時点で指標が設定されていない。
- これらについては、今後取り組むべき課題として関係部局における検討等を図っているところであり、今後どのような体制で整備することが本市にとってふさわしいかを具体的に検討していく。